

## 市街化調整区域開発 による地域づくり

中村 修 議員

**問** 市街化調整区域について、開発申請や土地活用の相談等、協議中の物件は。都市整備部長 桑原地区2カ所、柵木地区で話がある。また、米ノ井地区でも相談があった。

**問** 問い合わせがある開発は、基本的に優良農地と思うが、今後の見通しは。

**答** 農地サイドとの協議で、厳しい内容の話聞いていますが、国土利用計画や都市マスタープランで市の新しい産業拠点としての位置づけをしている。地主、開発業者の考えもある中で一緒に前進していければと思う。

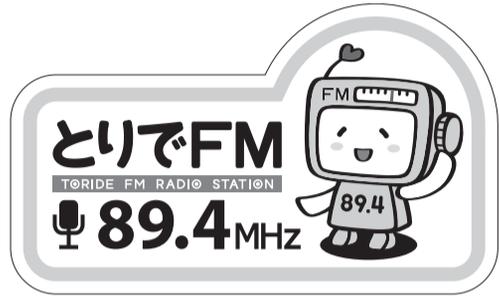
**問** 開発は、産業拠点というところで地域づくりに欠かせない。一方で農地保全という観点からは相反している。農政からの所見は。

**農業委員会会長** 申請があれば、法を遵守し対応する。農業委員会は、食料自給率アップに向け、農地の有効利用を推進している。農地減少を食い止めなければならぬ思いもある。

**問** 桑原地域市街化構想の早期実現の請願採択から5年。市の考えは。

**都市整備部長** 国土利用計画、都市マスタープラン等

で商業の拠点として指定。現在、事業者、権利者の考えを聞いている。一つ一つクリアしながら県や関東農政局との協議を考えている。



とりでんぱちゃん

## 何を伝える？ 臨時災害FM局

山野井 隆 議員

**問** 臨時災害FM局開設の申請期間は。

**総務部次長** 周波数再編の中で空いている時間で、使って大丈夫という期間が6か月となっている。

**問** 臨時災害FM放送の内容の詳細については。

**総務部長** 基本的には災害情報を中心。それ以外に、市や市民団体が取り組んでいる情報を提供したい。庁内の若手職員で検討する組織を立ち上げる予定。

**問** 災害情報の集約と優先順位などの決定は、どう行うのか。

**答** 災害対策本部、応急処

理本部に情報班がある。そこで、情報をつくり、発信する手順となる。

**問** 地域に偏った情報がほとんどになる感じだが、その辺の配分は。

**答** 国・県からの注意情報・警報を優先的に伝えることになる。

**問** 防災訓練について、FM放送を利用して、周知を兼ねてやってみては。

**答** 検討したい。

**問** つくば市で出力を20ワットにという話が出ている。そうすると、市に「ラヂオつくば」の電波が届く可能性が高くなる。参画する意思があれば、早めに取り組んだほうがいい。

**答** 多様な情報伝達的手段として検討していきたい。

## ウェルネスプラザ整備に 若者の声を！

飯島 悠介 議員

**問** 取手の文化政策は、ウェルネス・タウン構想にどう組み込まれているのか。

**都市整備部次長** 芸術文化も、作品を見ると心が和むなど市民の健康につながる構想は、それを否定するのではなく、取り入れていくコンセプトで成り立っている。

**問** 医療とアートは、体の健康と心の豊かさということ、パッケージにすれば日本中から集まるよう

なサービスができるポテンシャルを秘めると考える。ウェルネスプラザについて、町のにぎわいを加速するには、若い人のニーズをくみ取る必要があるが、どういった組み込みが可能か。

**答** 毎日の生活にとって住みやすいことを作り上げ、その上で多くの人に来ていただくまちづくりが必要。その意味でも、若い人たちにも健康・医療・福祉というコンセプトを進めている。

**問** どのようにより市民の声を拾う予定か。

**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

**問** 若者の声をしっかり受け止めるという点をウェルネスプラザのコンテンツづくりに生かしてほしい。

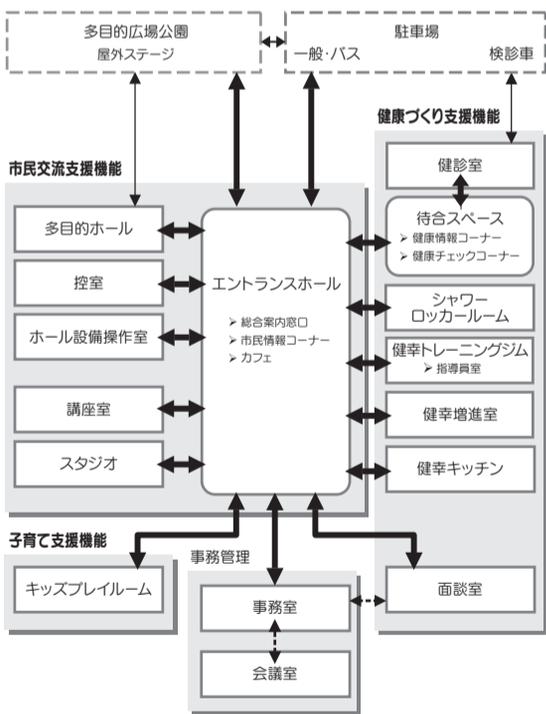
**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

**問** 若者の声をしっかり受け止めるという点をウェルネスプラザのコンテンツづくりに生かしてほしい。

**答** ウェルネスプラザの形を報告し、意見をいただければと思う。具体的には、今、検討しているところ。

## ウェルネスプラザの諸室構成

((仮称) ウェルネスプラザ整備計画 [案] より)



## 早急な拡幅整備を！ 台宿・芸大通り

小嶋 吉浩 議員



芸大通り (台宿)

**問** 都市計画画道路3・4・7号線の台宿坂上から最近できたコンビニまでが非常に狭く、危ない。片方しか歩道がなく、U字溝ふたの上を歩く。手かけ部分にふたがなく、夜間は特に危ない。横幅が広い人が通ると、すれ違いできず、どちらかが車道に出るため、よけた人

**答** 都市計画画道路3・4・7号線の台宿坂上から最近できたコンビニまでが非常に狭く、危ない。片方しか歩道がなく、U字溝ふたの上を歩く。手かけ部分にふたがなく、夜間は特に危ない。横幅が広い人が通ると、すれ違いできず、どちらかが車道に出るため、よけた人

が事故に遭ったら困ると思いつながら歩いている。ここは早急に整備すべき。鈴木議員の質問に、地籍調査を行っているという答弁があったが、終わるのはいつごろか。

**建設部長** 南側の台宿一丁目、28年度ごろを予定。

**問** 地籍調査が終われば境界がクリアになるが、地域の話では、境界問題についてほぼ解消されつつある。これを考えれば、地籍調査を待つまでもない。来年度予算からであれば、27年度までにやる気になれば完成できるとはならないか。

**市長** 3年かけて地籍調査をするとなると、危ない状況が長期にわたってそのままとなる。議会のご理解、ご協力があれば、来年度から用地測量、実施設計を前倒しすることは可能。

**問** ぜひ早いうちに予算を付け、この区間の早急な整備を重ねてお願いしたい。

**次の定例会は、  
9月5日(水曜日)  
開会予定です。**